

あしぎん香港レポート

2018年7月号

○ 【調査レポート】香港の労働市場	1
○ 【トピックス】香港の水事情	3
○ 【ニュース一覧】	4
○ 【香港コラム】端午節（端午の節句）	5

足利銀行香港駐在員事務所
SUITE 1601, 16/F, TOWER2, THE GATEWAY,
HARBOUR CITY, TSIM SHA TSUI, KOWLOON,
HONG KONG
TEL:+852-2251-9475
FAX:+852-2251-9476

本レポートの内容につきましては、弊行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談下さいますようお願い致します。

【調査レポート】

—香港の労働市場—

1. はじめに

香港に拠点を置く企業の平均昇給率 3.2%—

香港最大の人材業界団体「香港人力資源管理学会」によると、2018年1月の平均昇給率は3.2%となり、昨年同月比で0.3%増加しました。香港への旅行客が増加したこともあり、香港内での消費が伸び、小売業を中心に業績が上向くなど、香港全体の経済環境好転が背景にあるとみられます。

これは決して珍しいことではなく、恒常的なものと考えて差し支えない状況です(2003年にマイナス0.2%を記録して以降、平均3%の昇給を記録)。物価上昇(直近10年間の総合消費物価指数は平均+3.2%)をはじめ、要因は様々です。

そこで本稿では、香港の労働市場についてお伝えします。

2. 香港の労働市場

香港の労働市場では、労働者の対象(労働人口)は15歳以上となります。足元の労働人口は3,984千人であり、総人口のおよそ6割弱を構成しており、その内およそ97%が労働に従事しています。

次に、香港の労働市場を把握するため、失業率や最低賃金等の基礎的情報を確認していきます。(図表1)

図表1 香港労働市場・基礎的情報一覧

項目	直近公表値	単位	公表・適用時期
労働人口	3,984	千人	2018年1~3月
労働者	3,872	千人	2018年1~3月
内、男性	1,942	千人	2018年1~3月
内、女性	1,929	千人	2018年1~3月
失業率	2.8	%	2018年3~5月
昇給率	3.2	%	2018年1月
平均月給	16,400	HKD	2018年1~3月
(@14円/約23万円)			
最低時給	34.5	HKD	2017年5月から適用
(@14円/約5百円)			

出所: 香港政府統計局、香港人力資源管理学会より香港駐在員事務所作成

香港政府は、足元の失業率が過去20年に渡り最低レベルで推移していると伝えています。労働市場が需給逼迫の状況であることが分かります。

また香港では、外国人家政婦を積極的に活用しており、労働者に占める男

性・女性の比率がほぼ同等の状況となっているなど、女性の社会進出も進んでいます。

一方で、最低時給は2017年に改定されたものの、依然低い状況にあります。当地の厳しい生活環境(物価高・家賃高)を十分に配慮した取り組みが一層必要になるでしょう。

3. 特徴

ここでは、香港の労働市場の特徴について確認していきます。

① 転職文化

学業を卒業し社会人になる過程で企業を知る機会は少ないことから、自身の適正把握を前提に2～3年程度の周期で転職を繰り返す傾向があります。また、適正把握以外に、キャリア形成を目的とした転職も盛んに行われています。

一方、転職時に最も重視する要素に、「給与」を回答する人が35%とする調査結果もあります。

② MPF(Mandatory Provident Fund) 強制退職積立金制度

香港では日本の年金のような社会保障制度がないことから、老後の生活費の確保を目的に、2000年に施行されました。

内容は、労働者が65歳になるまでの期間、給与の一部を労働者・雇用者双方(原則給与額の5%ずつ)で積み立て、65歳の時点で原則一括支給されるものとなります。本制度はパートタイムも対象で、継続的な被雇用者が対象となります。

労働者保護を目的に、制度の整備が進んでいます。これまで解雇補償金(「解雇予告手当」に相当)や長期服務金(「退職金」に相当)の支払時に、積立金との相殺が認められていましたが、相殺制度の廃止が予定されています。2022年の改正を目指し、香港政府による調整が進められています。

③ 労災・医療保険

労災保険は、入社時(試用期間含む)からの加入が義務付けられています。また、労災保険の加入証を社内に掲示しなければなりません。その他、香港には日本のように健康保険制度がないため、福利厚生の一環として医療保険を付与している場合もあります。香港で私立病院を利用する際、治療費が高額になるケースが多いことから、医療保険の保険内容が就業を決める際の重要な要素の一つにもなっています。

④ 雇用契約

「実際の労働時間が週18時間以上、かつ連続4週間以上雇用されている状態」である場合、継続的契約と見なされ、仮に雇用契約を締結していない場合であっても、雇用契約が存在していると見なされます。

4. まとめ

以上より、労働市場における複合的要因により、昇給は当然のように実施されているため、雇用主はその上昇率をどのように設定するか頭を悩ませています。既に進出している日系企業の現地担当者にとって、日本との雇用環境が異なることから、まずは香港の実情に即したマインドリセットを施し、現地スタッフの労働管理にあたるのが望ましいと言えます。

香港駐在員事務所では、当地ビジネスにおける様々なサポートを実施しておりますので、是非お気軽にお問い合わせ下さい。

【トピックス】

—香港の水事情—

1. はじめに

2018年5月の香港は、1884年に香港気象台の計測が始まって以来、33度以上を記録した日数が最多となるなど連日真夏日が続きました。例年5月は雨期に当たりますが、単月の雨量は57.5mmと前年対比247.2mm減少し、貯水池の水量も前年対比で約70%減少するなど、水不足が懸念されていました。

2. 香港の水供給状況

香港の主な水源は雨水貯留と中国広東省からの購入です。しかし、香港は水資源が乏しく、香港域内で賅えている水の量は、必要量の2割程度となっています。香港は全体的に岩で出来ている部分が多いことや、平らな土地が少ないことなどがあり、地下水として溜まる量が少ないことが理由の1つです。貴重な水を無駄にすることのないよう、トイレの水は海水を利用するなど香港政府は水を大切にするプロジェクトを行っていますが、水問題は深刻な課題となっています。

3. 中国からの水供給状況

香港内で必要量すべての水を賅えない状況から、大部分を中国からの供給に頼っています。広東省に流れる東江から供給されており、毎年の上限は8億2千万 m^3 となっています。この供給量は中国政府から供給保証規定により、保証されています。一方で問題視されているのは、水の購入方法です。使用量に合わせて支払うのではなく、一括購入となっています。その為、雨量が多い年は、購入した水を使いきれず、無駄な支払いであると批判を受けることもあります。このような状況から、2020年以降には2段階の支払い方式が検討されており、一定額の一括購入と超過分に対する支払いが導入される可能性があります。

また、中国とイギリスによる香港返還交渉の際に、水供給のパイプライン問題が中国側に有利な交渉を与えたと言われているなど、香港の歴史にも影響を与えているようです。

4. まとめ

香港では重要な問題である水事情ですが、水を香港全土に供給する配水ポンプには一部、日本企業のポンプが使用されているなど、水インフラに日本も関わっています。生活必需品である水は命に係わる重要なものであり、その為、日本製品の安心・安全・高品質を提供できる機会があるのではないのでしょうか。

【ニュース一覧】

〈香港〉

- ・経済
 - －4月の小売売上高、前年同月比 12.3%増(6/1)
 - －香港への旅客数、前年同月比 11%増(6/4)
 - －5月の日経・香港 PMI、47.8 に低下(6/6)
- ・金融
 - －仮想銀行、年末にも免許交付へ(6/1)
 - －金融人材の初任給、8%引き上げも(6/11)
- ・不動産
 - －「空室税」導入検討(6/6)
 - －小売店のテナント賃料、33%上昇し7年前の水準を回復(6/12)
- ・その他
 - －日本食品の輸入規制緩和へ(6/6)
 - －鉄道運営会社労組、7%以上の賃上げ要求(6/6)
 - －家庭ごみ有料化、実施は早くても2019年末(6/7)
 - －香港域内企業、今年の賃上げ率 3.2%(6/11)

〈広東省〉

- ・経済
 - －5月の広東省製造業 PMI、50.3 に低下(6/4)
 - －5月の広東省 CPI、前年同月比 1.7%上昇(6/13)
- ・その他
 - －広東省、2017年の公営企業平均賃金は実質 7.7%増(6/1)
 - －広州市、帰国・海外人材による企業支援(6/1)
 - －広州市、渋滞対策で市外ナンバー車の通行規制強化(6/5)
 - －広州市、自動運転車の公道実験容認へ(6/6)
 - －広州市、全国初の電子出生証明書発行(6/7)
 - －広東省、最低賃金見直し 7/1 から(6/8)
 - －広州市、新エネ車の駐車料金減免検討(6/8)
 - －深圳市、自動運転ルールを年内策定へ(6/14)
 - －深圳市、全国で初めてEVトラックに補助金(6/15)

(出所:各種新聞報道等)

【香港コラム】

－端午節（端午の節句）－

香港の端午節には粽（ちまき）を食べる習慣があるため、近頃街中や新聞などで粽の広告を良く見かけます。また、赤柱（スタンレー）、大埔（タイポー）、沙田（シャティン）、屯門（ティンムン）、西貢（サイクン）、香港仔（アバディーン）などの香港各地でドラゴンボートレースが開催されるため、お祭りの雰囲気を楽しむこともできます。

1. 端午節について

端午節は、戦国時代の中国の詩人である「屈原」（くつげん）が国を追われ、不遇の死を遂げた日です。屈原の命日は旧暦の5月5日であり、その慰霊祭の意味をこめて毎年開催されるようになったのが始まりと言われています。旧暦上の日付であり、毎年日程は変わります。なお、2018年の端午節は6月18日です。

2. ドラゴンボートレースの概要

屈原が川に身を投げ自殺したと聞いた村民たちが身を案じ、川に潜む魚や竜に襲われないようドラや太鼓を打ち鳴らしながら船で一斉に捜索に向かった様子を再現しているのがドラゴンボートレースです。端午節に香港各地で行われ、世界最古の手漕ぎ船の競漕とも言われています。レースは1チーム20人程度で行われ、船の先頭にはドラマーと呼ばれる、太鼓を叩きリズムを取る役目の人がいます。漕ぎ手は2列になり双方から漕ぐため、早く進むためにはチームワークも大切で、何ヶ月も前から練習をするチームもあるようです。

3. 粽を食べる習慣の由来

屈原を慕っていた村民は、屈原が亡くなってからも彼の遺体が川にいる魚たちに食べられないように、粽で魚たちの気を引いたとされています。それが、粽を食べる習慣の始まりと言われています。香港の粽は日本のものとやや異なり、豚肉や豆、卵の黄身などの具材が包まれております。

端午節は中秋節・春節とともに三大節句と言われています。日本と違う粽を食べることや、国際的に有名なドラゴンボートレースで香港のお祭り気分を感じていただくのはいかがでしょうか。

【粽（ちまき）】



【ドラゴンボート】

